

平成25年度自己評価書

学校名 和歌山市立河北中学校 校長名 南 良 和 作成日 平成26年3月11日
 学校教育目標

【正しく判断し ねばり強く実践する 心豊かでたくましい生徒の育成】

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ○地域から信頼される学校づくりに努める。 ○情報を積極的に発信する。 ○保護者や育友会との信頼関係をさらに強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○きめ細かな生徒指導に心がけると共に校内体制のさらなる充実を図り全教職員で取り組む。 ○朝の読書タイムを実施するとともに「うちどく」の推進を図る。 ○道徳教育の充実を図り、相手の立場になって考えられる生徒を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習規律の遵守強化を図る。 ○授業時数の確保 ○指導方法の工夫改善を図り、基礎学力の充実に努める。 ○全国学力学習状況調査等の分析結果の活用を図る。
目標達成に向けた具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だより、学年だより、保健だより、生徒指導だより等の各種の通信を発行し、教育活動を積極的に発信する。 ○気になる生徒、長欠生に対して、きめ細かく家庭及び関係機関との連携を密にし対応する。 ○校区内の巡視や校区内の小学校との連携・情報交換をさらに密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月定例の生徒指導委員会、いじめ不登校委員会などでの情報交換をきめ細かくおこなうとともに対応の共通理解を図る。 ○外部講師の活用を図る。(交通指導・性教育等の特設授業の実施) ○朝の読書タイムの時間の確保や図書の実践に努める。 ○生徒の実態や現状に応じた道徳教材の開発に取り組み実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行事等の精選に努め、授業時数の確保に努める。 ○1年英語科でT Tと2年生の数学科で少人数指導を実施し、基礎学力の充実を図り、学力の向上を目指す。 ○朝の学習活動(基礎学力)を充実させる。 ○放課後や夏季休業中の基礎学力補充講座等を質的、量的に充実させる。
取組の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者向けの学年・学級便り、保健便りや地域向けの「河北中便り」を発行し情報発信を行えた。 ○校区内小中学校の校長及び教頭協議会を開催し情報交換や方向性を確認できた。 ○関係機関との連携を図り、きめ細かい対応を行い、長欠生の減少に関しては、多少の改善がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種委員会等できめ細かく情報交換や共有を行い、ある程度の成果があり問題行動が減少してきた。 ○外部講師による特設授業し、生徒の興味関心を喚起できた。 ○学校全体としての、道徳教育の取り組みが充分でなかった。 ○学級の掲示物等、教育環境を充実させることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数やT Tでの指導により、丁寧な緊張感のある授業が展開されている。 ○夏休みや放課後の学習では多くの生徒が積極的に参加していた。 ○学生ボランティアの活用が昨年よりも充実できた。 ○関係機関と連携した特別支援教育の推進が図れてきた。 ○家庭での学習の定着が課題。
次年度に向けた改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き保護者、地域向けに「学校便り」等を発行し情報発信に努める。 ○校区内小学校との更なる連携強化や情報交換を図る。 ○保護者、地域、外部機関の協力を得ながら、きめ細かい取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題行動に対しては先手を打った積極的な取り組みと共に、保護者、育友会、地域、外部機関との連携を積極的に行う。 ○朝の読書タイム、基礎学力タイム等の時間の確保、内容の充実に積極的に取り組む。 ○道徳の教材開発や年間計画の見直しを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習規律の定着を図る。 ○放課後等の基礎学力学習教室参加者の増加を目指及び内容の充実を図る。 ○引き続きT T・少人数指導を行い学力の向上を目指す。 ○学生ボランティア等を活用した取り組みの充実を図る。 ○教育機器等を活用した授業改善に取り組む。

その他学校運営についての課題や計画

- 生徒理解に努め、生徒指導面及び不登校生徒に対する諸課題解決に向けた取り組みの充実を図る。
- 地域や保護者・育友会に学校教育への理解と協力を求めると共に関係機関との連携に努める。
- 基礎学力の充実を図るため、T T、少人数指導を引き続き行う。
- 夏季補習、朝学、放課後の学習などを充実させ、基礎学力の定着を図る。
- 引き続き、学生ボランティアを特別支援学級、適応指導教室での有効活用や基礎学力の定着を目指した放課後補習等での活用していく。
- 関係機関との連携を密にした特別支援教育の充実に努める。

平成25年度学校関係者評価書

学校名 和歌山市立河北中学校

作成日 平成26年3月11日

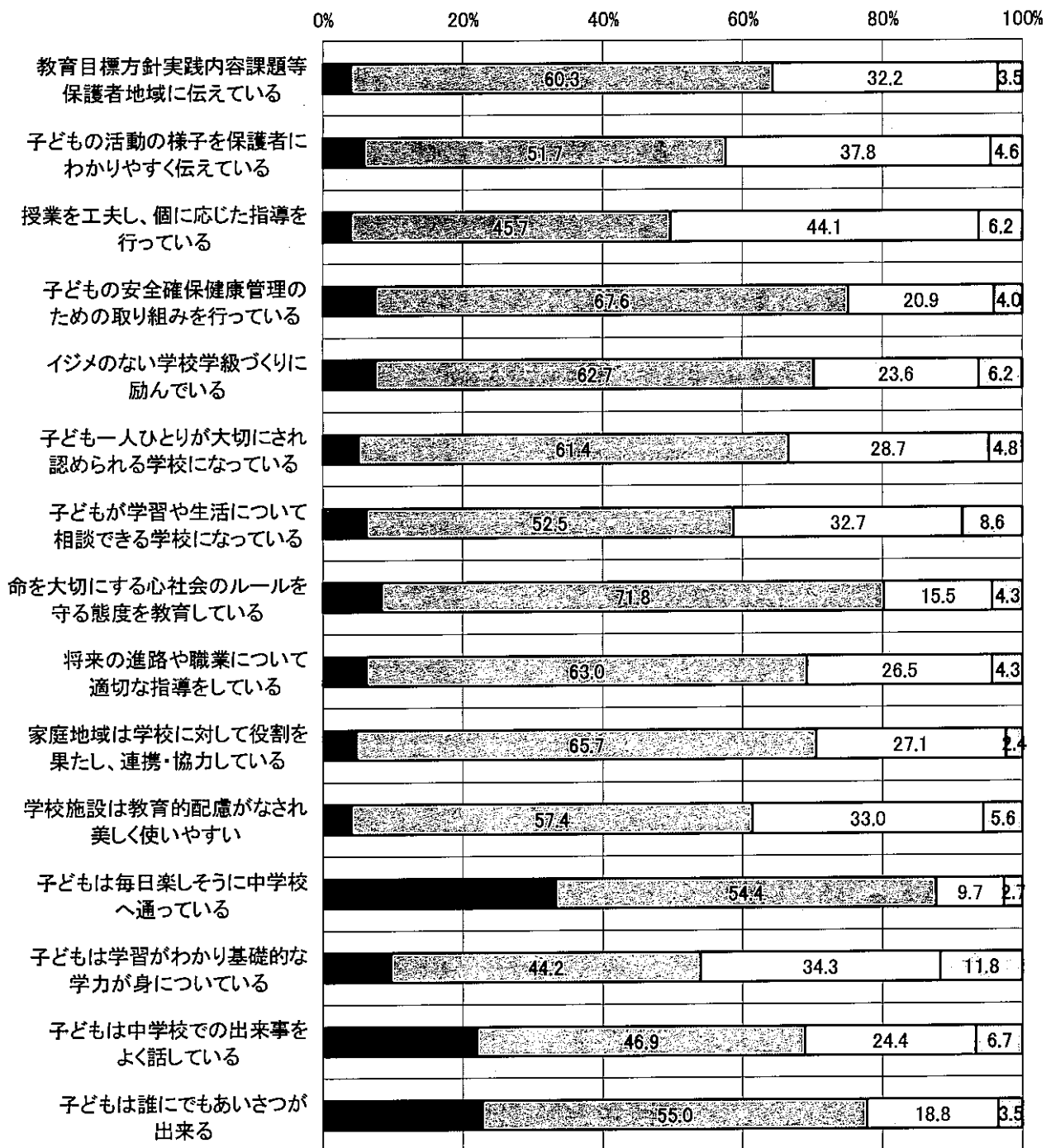
	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ○地域や育友会、保護者に対して、学校教育活動の情報発信は極めて重要である。信頼関係を深化するうえで受身的になることなく、学校から積極的に提起することが求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育やあらゆる場において、中学生としての生き方を考える取組が重要である。そのためにも落ち着いた、希望に満ちた学校を目指し、教育相談の充実や生徒一人一人を大切にしたい、きめ細やかな指導が大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全教育活動を通して、基礎的な学力の定着を図る努力が必要である。 ○知識・技能の定着・活用を図り、さらに、思考力・判断力・表現力等を身につける授業での取組が重要である。
目標達成に向けた具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民対象の「学校だより」の回覧、保護者への「学年だより」、「保健だより」等の配布は有効である。 ○小学校との連携や情報の共有は、生徒を理解し指導する上で極めて有効である。 ○保護者や育友会、生徒との信頼を築くために積極的な家庭とのかかわり等が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒を指導する上で、個々の生徒の状況や情報を全職員が理解することは重要である。 ○落ち着いた気持ちで授業に臨めるよう、朝の読書や放課後等での基礎的内容の振り返り学習は重要である。 ○生徒会活動が主体的により活性化させることが大切である。 ○道徳教育を中心に豊かな心を育てる具体的方策を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習規律の強化、行事の精選、授業時間数の確保、T・T・少人数指導等の指導方法の工夫改善は重要である。 ○基礎学力の充実については、全校生徒に対する夏期休業中や放課後の基礎学力の補充学習が効果的である。 ○家庭での学習習慣の定着や自学自習できる生徒の育成への手立てが必要である。
取組の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○「学校だより」などは学校の行事、様子等を地域に伝えることができた。 ○小中連携では管理職、生徒指導、特別支援担当との情報交換は重要である。 ○長欠生徒の減少を図るため家庭との連絡や地域、関係機関との連携が極めて重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○未だ授業に対する取組の態度等に受け身的、消極的な生徒も一部にみられる。 ○保育園との合同避難訓練や保育実習は防災意識、情緒の向上に極めて有効であった。 ○年間を通しての校門指導、挨拶運動は、生徒自身が自分を見つめ直す機会となった。 ○各教室の掲示内容が充実している。 ○部活動が充実してきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○英語科でのT・T、数学科の少人数指導は、生徒たちにより緊張感を与えている。 ○朝学、夏期休業中や放課後の基礎学力教室が地道に継続してきた成果が出てきている。 ○朝読や朝学、放課後の学習の時間やボランティアなどの人材確保に向けさらに努力してほしい。
次年度に向けての改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ○さらに学校をよく知ってもらうために「学校だより」などの発行頻度や内容の充実を目指す。 ○小学校との連携は、その方法の工夫や回数、人数等を考えて充実した交流が望まれる。 ○授業参観、学校開放等で保護者や地域の人々が訪問しやすい工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き挨拶運動の充実、特に育友会や生徒会も一緒に取り組む方向で進めていきたい。 ○外部講師の有効活用を更に進めてもらいたい。 ○朝読の時間確保、内容の充実に引き続き取り組んでほしい。 ○防災意識や情緒面の向上に役立つ保育園との様々な交流は引き続き行うことが望ましい。 ○より豊かな教育環境の充実に努めてほしい。 ○部活動をさらに、充実させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○創意工夫したノートづくりや宿題の提出などの状況を家庭と共有し、家庭学習の定着に繋げていく。 ○来年度もT・T・少人数指導は継続してもらいたい。 ○夏休みの学習、朝学、放課後の学習など、基礎学力の充実に絞り込んだ取組が必要である。 ○定期テストや小テスト等で、理解度等を知り、基礎学力の定着を図る粘り強い取組が必要である。

その他学校運営の改善に関する意見

- 授業中や放課後の生徒の問題行動は昨年より減少してきているが、現状に満足せず保護者や育友会と協力し、規範意識をしっかりと持たせる取り組みは続けていかねばならない。
- 校舎の老朽化もあるが、更に美しく豊かな教育環境を目指し、生徒、教師、育友会が共に自主的自発的な学校の美化活動に取り組み、好ましい教育環境作りへの意識を持ってもらいたい。
- 部活動をさらに活性化させ、目標を持った充実した学校生活を送らせてほしい。
- 外部講師を積極的に活用し専門性に触れ、生徒の目的意識や職業意識を高める取組が必要である。
- 健康で明るく協力しあえる教師集団を維持されて、本校生徒の教育にがんばってもらいたい。

平成25年度 学校評価アンケート(保護者 名)

■とてもそう思う □そう思う □あまりそう思わない □まったくそう思わない



H25 学校評価アンケート(生徒)

■とてもそう思う □そう思う □あまりそう思わない □まったく思わない

